

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	糸萱かぼちやの種子純化事業、加工品試作事業及び販売活動促進事業
事業主体 (連絡先)	糸萱かぼちや生産者組合 0266-77-2776 (代表：島立雄幸)
事業区分	(6)イ農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード事業
総事業費	919,040円 (うち支援金： 640,000円)

事業内容

糸萱かぼちやの販路拡大と販売期間長期化のため、加工品の試作評価と6次産業化の研修会・セミナーに積極的に参加した。

- ・5月：長野県工業技術総合センターで加工品試作の打合せ
- ・9/2 銀座 NAGANO で PR 活動と直販活動
- ・9月-11月 6次産業化研修会(3回) 於：松本
- ・10月 加工品試作(2回) 於：長野県工技総センター
- ・11月 都庁での PR と直販活動(1週間)：都庁
- ・12-1月 6次産業化セミナー 於：諏訪合同庁舎
- ・2月 マッチングフェア 於：松本合同庁舎
- ・3月 6次産業化事例発表会 於：松本スイス村



【かぼちやの加工品試作風景】

【目標・ねらい】

<来年度目標>

- ① 生産量 30%増
- ② 販売量 30%増
- ③ 売上額 30%増

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 加工品試作では、パウダーをソフトクリームに活用するのが、新たな地域特産品とする夢に繋がる可能性のあることが判明した。一方、レトルト食品化は味の変化があり適さないことが判明した。
- ② 加工品とは異なるが、生のカット品の冷凍食品化は味が維持できることから、販売長期化と販路拡大の可能性があり、来期から実施する予定である。
- ③ 地元メディアに積極的に働きかけたこともあり、糸萱かぼちやの知名度向上を実感している。ホテル・レストランで地産地消野菜としての採用が期待でき

※自己評価【B】

【理由】

目標が高すぎ、生産・販売は目標達成できなかったが、売上額でみると27%増となった。6次化の目処がつき、来期はその一歩を踏み出せそうである。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ① 来年度は糸萱かぼちやの冷凍野菜を商品化し、翌年のゴールデンウィーク頃までの販売長期化と販路拡大を図っていく。
- ② 糸萱かぼちやの知名度向上により、諏訪エリアのホテル、旅館、レストランにも認知が進んでおり、地産地消野菜に位置付けていただき、販売量の拡大を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある